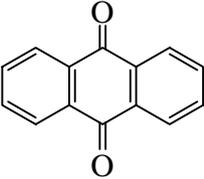


既存化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	98 - 28	官報公示 整理番号	4 - 686	CAS 番号	84 - 65 - 1
名 称	<p style="text-align: center;">アントラキノン</p> 別名：9,10-アントラキノン 9,10-アントラセンジオン 9,10-ジオキソアントラセン		構造式		
分子式	C ₁₄ H ₈ O ₂		分子量	208.21	
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 99%以上 不純物 : 不明 添加剤又は安定剤：無添加					
物理・化学的性状データ 外 観：淡黄色固体 ²⁾ 融 点：286 ^{2,3)} 沸 点：377 ³⁾ 引 火 点：185 (c.c.) ²⁾ 発 火 点：文献なし 爆発限界：文献なし 比 重：d ₄ ²⁰ 1.42-1.44 ^{2,3)} 蒸気密度：7.18(空気 = 1) 蒸 気 圧：2.1 × 10 ⁻⁵ Pa (1.16 × 10 ⁻⁷ mmHg) (25) ⁴⁾ 分配係数：log Pow ; 3.39(実測値) ⁵⁾ 、2.62(計算値) ⁵⁾ 加水分解性：加水分解を受けやすい化学結合なし 解離定数：解離基なし スペクトル：主要マススペクトルフラグメント m/z 208(基準ピーク, 1.0)、180(0.96)、152(0.75) ⁶⁾ 吸脱着性：土壌吸着係数 K _{oc} = 1,664、3,702 ⁴⁾ 粒度分布：文献なし 溶 解 性：アントラキノン/水 ; 0.05 w/w% (18)、0.44 w/w% (25) アルコール、エーテル、ベンゼンなどの有機溶媒に可溶。 換算係数：1 ppm = 8.66 mg/m ³ (気体, 20) 1 mg/m ³ = 0.116 ppm					

総合評価

1) 危険有害性の要約

ヒトならびに実験動物において、眼及び皮膚に対し軽度の刺激性が認められている。ヒトへの慢性影響では光線皮膚炎との関連性を示唆する報告があり、実験動物においては貧血や肝に対する影響もみられている。変異原性については陽性と陰性の結果が報告されているが、発がん性試験については陰性である。

本物質は環境中に放出された場合、物理化学的性状から考えて主として水圏及び底質中に分布するものと予想され、環境庁のモニタリングデータでも報告されている。水圏では主として生分解により分解される。

2) 指摘事項

(1) ヒトならびに実験動物において、眼及び皮膚に対し軽度の刺激性を示す。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(1999).
- 2) 有機合成化学協会編, 有機化学物辞典, 講談社(1985).
- 3) The Merck Index, 12th. Ed., Merck & Co., Inc.(1996).
- 4) Hazardous Substances Data Bank(HSDB), U.S.National Library Medicine(1997).
- 5) 分配係数計算用プログラム“C Log P”, アダムネット(株).
- 6) NIST Library of 54K Compounds.